

2025年度 釧路市立高等看護学院 学校関係者評価

少子化が進む昨今において、2024年度・2025年度入学者数が定員を割ったことに伴い、今年度、指定校・公募推薦や、一般・社会人・大卒等選抜試験の見直しを行い、またインスタグラム等のSNSを活用した新たな情報発信による広報活動も学校の魅力発信に繋がったことなど、2026年度入学者数は、定員を上回る見通しとなっている。今後は、この結果をしっかりと分析し、継続的な学生確保につなげてもらうことを期待する。

一方で、卒業・就業・進学が昨年度と比較して、0.5ポイント低評価となった。特に「卒業生の就業先での評価を把握」については、卒業生アンケートや面談、「ちょこっと応援隊」等で得られた現場の声を集計・分析し、課題を明確にして、授業展開や教育目標の更なる改善へと繋げていってほしい。

病院と学校の連携強化、協働とともに丁寧な学生への指導・育成に力を注いでいた。特に教員は、病院の学生担当者と密に相談しながら、学生が実習しやすい環境づくりを行っていた。また地域は本格的な少子高齢化がすすみ、看護職を目指す学生が減少している中、インスタグラム等のSNSを活用し、魅力発信を積極的に行い、学生の確保に努めていた。

社会のニーズや医療を取り巻く状況が厳しい中、看護職が必要とされる場が広がり、幅広い分野で質の高い看護の提供が期待されている。今後も、看護専門職として社会や地域に貢献できる、広い視野を持った学生の育成を期待している。